



農家の発想で生まれた

米ぬか繊維の靴下

古来、人々のスキンケアとしても活躍してきた「米ぬか」。米ぬかには、米ぬかオイル、 γ -オリザノール、フェルラ酸など、豊富な美肌成分がたっぷり含まれています。

江戸時代には、洗顔料として使われていました。

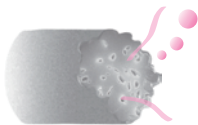
練り込みだから持続する米ぬか美肌成分

「米ぬか繊維」は、米ぬかに含まれる豊富な美肌成分を更に増強して糸に練り込みました。その為、保湿性が高く、柔らかくてなめらかな肌触り。

米ぬかオイルのラップ作用でお肌をやさしく包み込みます。洗濯しても素材の機能は変わりません。

米ぬか美肌成分練りこみ

レーヨン繊維の断面の小さな穴の中に米ぬか美肌成分を練り込んでいます。



※繊維の断面図イメージ

古来からのスキンケア

江戸時代の銭湯では、「米ぬか」を入れた「ぬか袋」を石鹸のかわりに使っていました。



Made in Nara 鈴木靴下